

IBM SPSS Statistics
バージョン 26

障害支援技術ソフトウェアの構
成

IBM

目次

支援技術ソフトウェア	1	Mac OS ソフトウェア	1
Windows ソフトウェア	1	Linux ソフトウェア	1

支援技術ソフトウェア

IBM® SPSS® Statistics には、視覚障害および他の機能障害があるユーザーに固有のサポートに加え、すべてのユーザーに向けたアクセシビリティ機能が用意されています。本書では、IBM SPSS Statistics で支援技術ソフトウェアを使用可能にする方法について説明します。

Windows ソフトウェア

IBM SPSS Statistics は、IBM SPSS Statistics のインストールの一環として自動的に有効化される JAWS との連携がテストされています。JAWS で辞書ファイルを使用できます。この辞書ファイルは使用しなくてもかまいませんが、このファイルには、JAWS で間違って発音される統計用語の正しい発音が含まれています。また、いくつかの用語から「ダッシュ」が削除されています。例えば、この辞書を使用すると、「chi-square」は「chi dash square」ではなく「chi square」として読み上げられます。JAWS 辞書ファイルをコピーするには、次の手順を実行します。

1. IBM SPSS Statistics のインストール・フォルダーにある *Accessibility* フォルダーに移動します。例えば、IBM SPSS Statistics がフォルダ `C:\Program Files\IBM\SPSS\Statistics\26` にインストールされている場合、`C:\Program Files\IBM\SPSS\Statistics\26\Accessibility` に移動します。
2. `.jdf` ファイルをコピーします。
3. ご使用の JAWS スクリプト・ファイルが含まれるフォルダーにファイルを貼り付けます。
4. JAWS を起動します。
5. IBM SPSS Statistics を起動します。
6. データ・ファイルを開きます。
7. メニューから、「分析」 > 「平均の比較」 > 「1 サンプルの t 検定」を選択します。

辞書ファイルが使用された場合、JAWS は、「One dash Sample T Test」としてではなく「One Sample T Test」として読み上げます。

Mac OS ソフトウェア

Mac OS には、画面読み上げ機能が含まれるアクセシビリティ・インターフェースである VoiceOver が含まれています。VoiceOver には Java サポートが組み込まれているため、特別な構成は必要ありません。詳しくは、Mac のヘルプを参照してください。

Linux ソフトウェア

Linux には、複数の画面読み上げオプションが用意されています。画面読み上げソフトウェアを使用する前に Java Access Bridge をインストールして使用可能にする必要があります。詳しくは、ディストリビューションの資料を参照してください。



Printed in Japan